

夢の宅配便

小田原市立城山中学校

学年主任 水野喜代治

「終わりを意識する」

生徒が下校した後に、職員室に電話がかかってきます。「〇〇先生はいらっしゃいますか？〇〇先生をお願いします。」「はい。少しお待ちください。」と受話器を保留にして、〇〇先生の机を見ると、校内にいるか帰宅したかがすぐにわかります。机の上に何もなくて、椅子が机に入れられていれば、帰宅したことを意味しています。逆に椅子が出ていて、机の上にパソコンや書類が置かれていれば、まだ校内にいることになります。

大人になって、仕事をすると、仕事が終わって、帰宅する前に机の上を整頓したり、書類を整理して、最後に椅子を机に入れて、自分の仕事をしていた場所を片付けます。物事の最後をしっかりと意識することが大事です。

生徒の下校した後に教室に入ると机の上に教科書やプリントが置いたままになっている机がいくつかあります。ロッカーなどに教科書をしまわずに下校したことがわかります。机の上には何も置いてなくても、椅子を出したままで下校してしまう生徒も目につきます。帰りの会が終わったら、「さようなら」の後にしっかり椅子を入れて、机の上を片付けて下校しましょう。このようなちょっとしたことに気が配れるかどうか大きな差となってあらわれます。今まで意識していなかった人は、今日の帰りから意識してみてください。物事の終わりを意識できるといろいろなことに力が発揮できるようになるはずですから

今日のキヨたん NO 2 8

空が海のように青い
田んぼも空が映って海になる
町ゆく人が自然に
空を見上げる
心に空は
どう映っているのかな